



「日本の旬 東北」

一度でいいから見てほしい。震災後10年の特別プログラム



学びプラン

地域住民の足を絶やすな 鉄道マンたちが懸けた想い 三陸鉄道 震災学習列車

防災について考えよう。

教訓の伝承と防災意識の啓蒙を目的に被災地の「今」を列車で移動しながら直接「見て」「聞いて」「感じて」頂く「震災学習列車」。

三陸鉄道の社員や運転士、また沿線住民などが車内で震災当時の状況をご案内します。被災状況をご覧頂く際には一旦停止、徐行運転などもあります。



三陸鉄道 2012年4月頃の様子



三陸鉄道南リアス線・唐丹駅（2011年3月13日撮影）



車内でのガイドの様子

▶ならではのポイント

震災から岩手は、東北は、日本は、どう歩み、どう変わったのか・・・を列車で移動しながら感じていただく「この場所ならではの」の取り組みです。教育旅行団体や視察旅行団体から注目度の高いプログラムとなります。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

【三陸鉄道リアス線】 座席定員48～58名（車両タイプによります）

運行区間は以下3コースです

- ・盛駅⇄釜石駅間（旧南リアス線）*列車最大車両数3両まで
- ・鵜住居駅⇄宮古駅間（平成31年3月に新たに開通した区間）
*列車最大車両数4両まで
- ・田野畑駅⇄久慈駅間（旧北リアス線）*列車最大車両数4両まで

運行ダイヤ例 11:30 久慈駅発 ⇒ 12:40 田野畑駅着

11:00 宮古駅発 ⇒ 12:20 鵜住居（うのすまい）駅着

10:25 釜石駅発 ⇒ 11:30 盛（さかり）駅

乗車前、降車後にガイドによる案内・地域視察など

※時刻表は改定される場合がございます。最新の時刻表で確認ください

被災地にて 震災メモリアルパーク中の浜

宮古市・中の浜地区には15mを超える津波が押し寄せました。

当パークは震災当時の中の浜キャンプ場として使われていました。震災当時の記憶を残すため被災したトイレや炊事棟を震災遺構として保存、他津波に関する資料の展示もあり自然の脅威を伝えます。

三陸海岸 語り部ガイド 三陸鉄道株式会社 二橋 守さん

三陸鉄道の社員または沿線住民が車内で震災の状況などをご案内します。被災状況がご覧いただける場所にて一旦停車または徐行運転いたします。

今だからこそ見えるものをご案内します。



震災メモリアルパーク中の浜



三陸鉄道北リアス線・鳥越駅（2011年4月頃の様子）



三陸海岸 語り部ガイド
三陸鉄道株式会社 二橋 守さん



車内でのガイドの様子

▶その他補足情報

- ・所要時間 約1時間30分～2時間
- ・設定期間 2020年4月1日～2021年3月31日
- ・対応人員 1名～200名
1 車両最大50名様まで乗車可能です。
最大4 車両（200名）まで対応可能。

▶交通アクセス

久慈駅

■車／東北自動車道・九戸ICより車で約60分

宮古駅

■車／東北自動車道・盛岡ICより車で約120分

釜石駅

■車／東北自動車道・花巻ICより（釜石道・三陸道経由）車で約60分



体験プラン

山田の美味しいつまみ食いができる！震災語り部さんとまち歩き
つまみ食いは牡蠣や郷土菓子など3種！

三陸鉄道「陸中山田駅」を中心に、賑わいと生業が再生されつつある山田の町なかを、地元商店街の震災語り部がゆっくり歩きながらガイドします。
途中、山田ならではの3つのプチ食体験をご用意。
体験後は、それをつまみ食いしてください。



▶ならではのポイント

語り部は、東日本大震災の大津波で被災した山田町の商店街の店主たち。彼らが山田町の震災前、震災、いま、そして未来を語ります。

つまみ食いは、旬の海産物を中心に、地元っこが大好きな郷土菓子などもご用意しています。

震災語り部ですが、山田町は「楽しい！」「美味しい！」と、明るい気持ちになるプログラムです。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

◆プログラムの流れ◆

- 陸中山田駅または新生やまだ商店街付近集合・出発

[主な語り部スポット]

駅前商店街、堤防付近、新生やまだ商店街、震災遺構、五篤丸水産など

[食体験&つまみ食い例]

(時期・日によって異なります。内容は、当日のお楽しみ)

- ・山田名物山田せんべい“その場で揚げちゃう”体験
 - ・牡蠣やホタテの殻剥き体験
 - ・朝採れわかめしゃぶしゃぶ体験
 - ・いかをのしちやえ体験
 - ・山田のお魚屋さんで新鮮お刺身 etc.
- 陸中山田駅または五篤丸水産付近解散



生牡蠣のつまみ食い



のしか体験



牡蠣剥き体験



山田せんべい揚げたてつまみ食い

▶その他補足情報

- 所要時間 約90分
- 対応可能人員 5～約30名
- 設定期間 通年
- 設定除外日 年末年始、お盆、町内祭り・イベント開催日

▶交通アクセス

- 三陸沿岸道路
山田ICより約5分
- 三陸鉄道陸中山田駅より
0分



学びプラン

東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル） 命を守り、海と大地と共に生きる

～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～

2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。この悲しみをくり返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指しています。震災津波の脅威を実感し、震災津波を自分事として捉え、命を守る教訓を学べる内容です。



外観



体験の様子



体験の様子

▶ならではのポイント

ガイダンスシアター（映像上映）の座席を確保します。
ご希望により解説員が展示の解説を行います。
外国語（英語・中国語）の対応可能です。
※事前予約が必要です。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

東日本大震災津波伝承館 (いわてTSUNAMIメモリアル)

◆ツアーの見どころ・プログラムの流れ◆

ガイダンスシアターを視聴し、解説員が主な展示物を解説いたします。

◇ガイダンスシアター [映像約12分] 40席

「命を守り、海と大地と共に生きる」をテーマとする施設全体の趣旨を総括して上映します。

◇《ゾーン1》歴史をひもとく

津波災害を歴史的・科学的視点からひもときます。古来、育まれてきた知恵や技術、文化を見つめ直し、自然とともに暮らすということを改めて考えます。

◇《ゾーン2》事実を知る

被災した実際の物、被災の現場をとらえた写真、被災者の声、記録などを通して、東日本大震災津波の事実を見つめます。

◇《ゾーン3》教訓を学ぶ

逃げる、助ける、支えるなど、東日本大震災津波の時の人々の行動をひもとくことで、命を守るための教訓を共有します。

◇《ゾーン4》復興を共に進める

東日本大震災津波を乗り越えて前へと進んでいく被災地の姿を伝えます。



ゾーン1



ゾーン2



ゾーン3



ゾーン4

▶その他補足情報

- ・ 所要時間：約90分
- ・ 休館日：12/29～翌年1/3
臨時休館日
- ・ 英語リーフレット、多言語対応
説明アプリ有
- ・ 車椅子貸出有

▶交通アクセス

- 東北自動車道
「一関インター」より車で
約1時間15分
「盛岡インター」より車で
約2時間
- 釜石道「宮守インター」
より車で約50分



学びプラン

あの日からこれまで そしてこれから。 復興へ懸命に立ち上がるまちの姿を伝える

現地でしか感じられない思いがある。

宮城県北部沿岸エリアに位置する南三陸町。東日本大震災による津波により町は壊滅、町中心部の建物の約8割が流失しました。2011年8月より「被災地の現状を知ってもらいたい」との思いから他被災エリアよりもいち早く「語り部ガイド」が発足、全国各地から視察団体・ボランティア団体を受け入れてきました。2012年2月には「南三陸さんさん商店街」がスタートし、6年間のべ100万人が来場。2017年3月3日には新市街地に新「南三陸さんさん商店街」がオープンしました。



被災直後の南三陸町志津川地区



新「さんさん商店街」オープンの様子



写真提供：南三陸町観光協会

旧「さんさん商店街」

▶ならではのポイント

現地で実際にプログラムを受講していただくことで、新聞やテレビ等のメディアでは伝えきれない被災当時の様子や被災地の現在、被害者の思いを生で感じることができます。プログラムの語り部は震災前から南三陸町に住み、震災後も街の復興を見守り続けてきた住民になります。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

コース内容

南三陸ポータルセンター ・震災講話



志津川地区を視察・車窓ガイド



「南三陸さんさん商店街」視察・ショッピング

※ガイドの同行は浸水エリアの視察・車窓ガイドまで

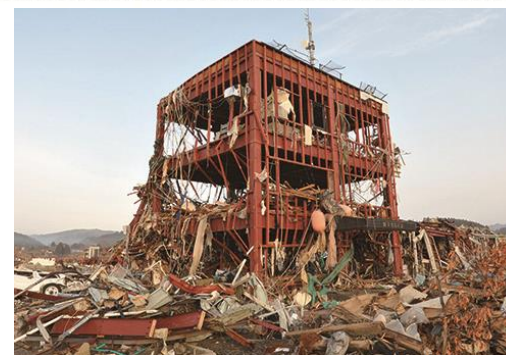
※「南三陸さんさん商店街」での視察・ショッピングは所要時間に含まれていません。

被災地にて 南三陸町防災対策庁舎

平均16.5メートルにも及ぶ大津波により南三陸町志津川地区の建造物はほとんどが流失したが、地区の中心部に位置する当時の町役場に隣接していた防災対策庁舎は鉄骨と屋根の一部だけが残った。解体か保存かで町は揺れたが宮城県が2031年まで管理・保存することが決まっている。

南三陸町 語り部ガイド ガイドサークル汐風 後藤 一磨さん

南三陸町は豊かな海の幸山の幸に恵まれその歴史を育んできました。その自然から筆舌に尽くしがたい被害を受け、大きな犠牲を払いましたが私たちは多くのことも学びました。皆さんが南三陸町を後にして地元に戻られたら『こういう話を聞いた』と是非周囲の方々に伝えて頂ければと思います。



被災直後の様子



復興工事の様子



南三陸町 語り部ガイド
ガイドサークル汐風 後藤 一磨さん



写真提供：南三陸町観光協会 旧「さんさん商店街」

▶その他補足情報

・所要時間

昼食なし 約2時間30分

・設定期間

2020年4月1日～2021年3月31日

(除外日12/29～1/3、3/11)

・対応人員

10名様以上でお申込み下さい。

※10名未満の場合、10名分料金ギャランティとなります。

▶交通アクセス

■車／

三陸自動車道志津川ICより

約5分



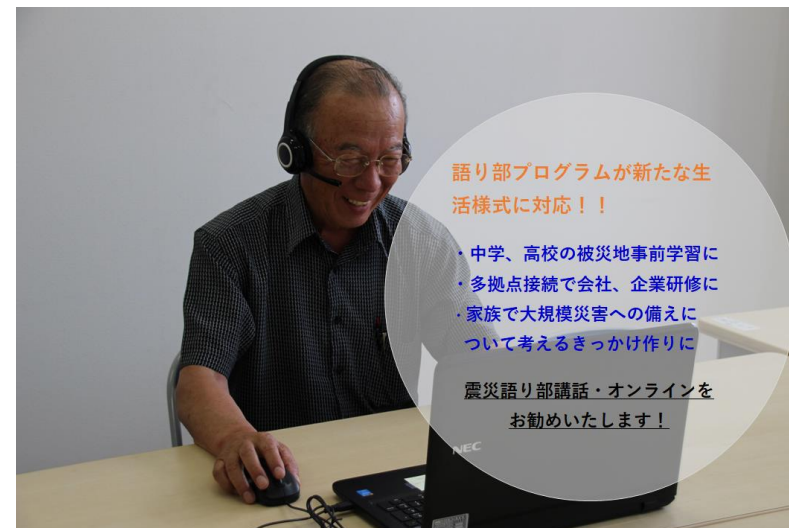
学びプラン

南三陸震災語り部講話・オンライン 復興へ懸命に立ち上がるまちの姿を伝える

～新たな生活様式に対応した震災学習プログラム～

“3密”を避けつつも東日本大震災について学んでいただき、また南三陸に住む町民と対話することが出来る学習プログラムを企画いたしました。プログラム名は「震災語り部講話・オンライン」です。その名が示す通りオンラインのビデオ通話システムを介し、語り部から受講者の皆様に東日本大震災の体験談や、現在に至るまでの復興の道のりを伝える講話スタイルのプログラムです。

東日本大震災の被災者である語り部と言葉を交わし、改めて身近に潜む大規模災害のこと、更には災害への備えについて思いを巡らせてみませんか？



語り部プログラムが新たな生活様式に対応！！

- ・ 中学、高校の被災地事前学習に
- ・ 多拠点接続で会社、企業研修に
- ・ 家族で大規模災害への備えについて考えるきっかけ作りに

震災語り部講話・オンラインをお勧めいたします！



防災対策庁舎



南三陸町

▶ならではのポイント

新しい生活様式を踏襲した学習プログラムです。

現地までの移動が不要且つオンラインを活用したプログラムのため、移動費用を削減しつつ、電話で会話をするように気軽に受講いただけます。

被災地研修旅行の事前学習としてもおすすめです。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

【震災語り部講話・オンライン】

60分（講話50分＋質疑応答10分）

2021年3月11日で、東日本大震災の発生から10年の歳月が経過します。長い時の流れの中で復興は進み、人々の日常も大きく変化しました。かつて被災した町民は、如何にしてこの10年を生き抜いてきたのでしょうか。今や日本全国で大規模な災害がいつ起きてもおかしくない状況が続いています。東日本大震災の被災者である語り部と言葉を交わし、改めて身近に潜む大規模災害のこと、更には災害への備えについて思いを巡らせてみませんか？

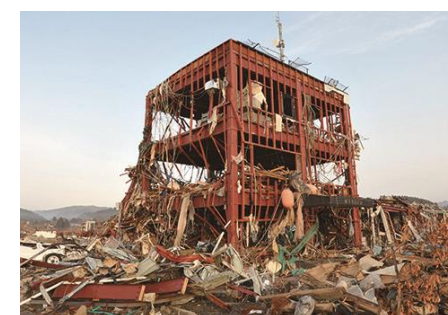
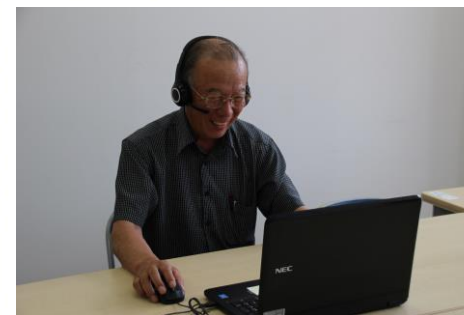
※必須環境

- ・インターネット環境
- ・Eメールアドレス（招待URL送付用）
- ・PCまたはタブレット端末（必須：WEBカメラ・マイク）

※開催前日までに双方向のテスト通話を行います

こんな皆様におすすめです。

- ・中学生、高校生の被災地研修旅行の事前学習として利用したい
- ・企業、会社の研修として防災や減災について学びたい
- ・遠隔地に住んでいるが、地域の防災意識を高めるために震災講話を受講したい
- ・家族で大規模災害や、その備えについて考えたい
- ・都度語り部と意見を交わしながら震災について学びたい



被災直後の様子



復興工事の様子



写真提供：南三陸町観光協会 旧「さんさん商店街」

▶その他補足情報

- ・所要時間 60分（講話50分＋質疑応答10分）
- ・設定期間 2020年8月1日～2021年3月31日
（除外日12/29～1/3 3/1）
- ・対応人員 1名様でも対応可能です。

▶交通アクセス

- オンラインにて実施



学びプラン

気仙沼市東日本震災遺構・伝承館

震災の伝承と後世につなぐ架け橋として

震災の記憶と教訓を伝える”目に見える証”として2019年3月オープン。津波で4階まで被災した気仙沼向洋高校旧校舎を「震災遺構」とし、新設された「震災伝承館」では地震・津波の脅威を伝える大型スクリーンで震災前後の映像上映、そして今の気仙沼の様子を伝える展示コーナーを併せて公開しています。

また、見た人の心に残り、防災意識の向上につながる啓発の場として様々なプログラムがあります。



▶ならではのポイント

＜防災・減災教育がワンストップで学べるプログラム＞

◆語り部ガイド（写真右）

自身の体験や教訓を織り交ぜながらガイドを行います。

◆防災セミナー（写真左）

各分野の専門家による知見の提供、防災の取り組み事例などを紹介しています。

◆ふりかえりワークショップ

震災遺構や伝承館で見た・聞いたことを振り返り、自身の生活に置きかえて教訓を生かします。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

見学の流れ＜所要時間：約90分＞

震災伝承館→震災遺構→震災伝承館の順番で見学していただきます。

＜震災伝承館：約15分＞

- ・映像シアターにて震災時及び直後の映像上映（左上の画像）
- ・展示室Aにて津波の脅威と爪痕の様子を展示（右上の画像）

＜震災遺構：約60分＞ ▶ここから語り部ガイドが付きます。

- ・気仙沼向洋高校旧校舎の1階、3階、4階、屋上が見学可能エリア

1階 破壊された校舎

3階 津波で流されてきた車（左下の画像）

4階 津波到達地点

屋上 震災時の最後の砦

＜震災伝承館：約15分＞

- ・展示室Bにて避難所や応急仮設住宅での様子を展示
- ・講和室にて被災者の想い・命の大切さの映像上映（右下の画像）
- ・展示コーナーにて東日本大震災関連の書籍閲覧
- ・体験交流ホールBにて気仙沼市復興の様子を展示



▶その他補足情報

- ・開館時間 4～9月 9:30～17:00
10～3月 9:30～16:00
- ・休館日 毎週月曜日
(祝日の場合は翌日休館)
- ・外国語リーフレット、スマートフォン
対応説明アプリ有
- ・車椅子貸出有

▶交通アクセス

＜お車でお越しの方＞
(目的地は岩井崎に設定)
・仙台方面から
三陸沿岸道路「大谷海岸IC」
から国道45号線を北上し約
10分
・岩手方面から
国道45号線を南下し岩井崎
入口看板から約2分
＜公共交通機関（BRT）でお越
しの方＞
JR「陸前階上駅」からタク
シーで約3分（徒歩20分）



学びプラン



イメージ
動画は
こちら!

サイボーグ003がアテンドする！ 石ノ森萬画館満喫プラン

震災から復興した萬画館で「萬画(マンガ)」と「防災」を学ぶ

『サイボーグ009』や『仮面ライダー』をはじめ、数々のヒット作を生み出した石ノ森章太郎の作品世界を立体的に展示するマンガミュージアム。東日本大震災では津波で甚大な被害を受けるも、全国のたくさんの方々からの支援により2012年に再開、その後2013年にリニューアルオープンを果たす。2021年7月には開館から20周年を迎える。



▲石ノ森萬画館外観



▲1Fエントランスホール



▲サイボーグ003(アテンダント)

▶ならではのポイント

①サイボーグ003が館内をご案内します。

サイボーグ003(アテンダント)が施設の概要・見どころ、震災当時から現在までの経緯や、JTB特典の説明をしながら、1Fから2Fまでご案内します。

※ご案内は他スタッフの場合があります。

②「サイボーグ009ソーダ(ホワイトカラー)」付き

③お土産「復興情報マガジン マンガッタン」付き

サイボーグ009ソーダ(ホワイトカラー)▶
※掲載写真はイメージです。
※器は季節によって異なる場合があります。



▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

◆サイボーグ003による石ノ森萬画館の解説◆

1Fエントランス～スロープ～2F展示室受付前(15分程度)

- ・石ノ森萬画館の施設概要や石ノ森章太郎について
- ・見どころのご案内
- ・震災時の対応や再開までの道のり
- ・JTBならではのプランの説明



◆解説後 自由観覧(75分程度)

- ・企画展示室・常設展示室・映像ホール・ライブラリー他

◆3F 展望喫茶「BLUE ZONE」(観覧中にご利用)

ドリンク付き「サイボーグ009ソーダ(ホホワイトカラー)」

JTBだけの非売商品です。ドリンクの提供に時間がかかる場合があります。
人数によってはテイクアウトでのご提供となります(要事前確認)。



◆1F グッズショップ「墨汁一滴」(観覧中にご利用)

お土産付き「石巻からのコミック&復興情報マガジン マンガッタン」

※全8巻よりランダム

石巻駅より石ノ森萬画館まで約1kmの道のりは「石巻マンガロード」と呼ばれ、40を超える様々な石ノ森キャラクターのモニュメントが点在し、みなさまのお出迎えをしてくれます。周辺の街なかも一体で楽しめる「萬画の国・いしのまき」は街全体がマンガミュージアムです。

※開催イベント等詳細は石ノ森萬画館の公式HPをご確認ください。

石ノ森萬画館は2020年6月1日より感染症防止対策を行い、営業中

※館内の感染症対策は状況に合わせ変動します。



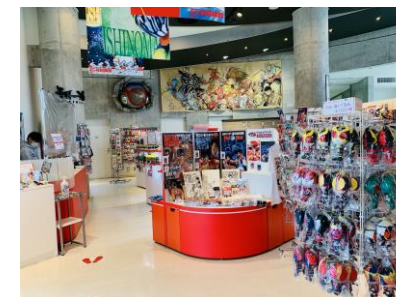
▲サイボーグ009の世界(2F常設展示室)



▲仮面ライダーの世界(2F常設展示室)



▲アトラクション「サイクロン号」(2F常設展示室)



▲1Fグッズショップ「墨汁一滴」

©石森プロ ©石森プロ・東映

▶その他補足情報

■所要時間 90分

①10:30～12:00 ②13:30～15:00
(①②以外も対応可ですが要相談)

■対応可能人員10～60名(要相談)

■設定期間 2021年4月1日

～2022年3月31日

■設定除外日

土日祝、8/11～8/14、1/1～1/2

▶交通アクセス

■三陸自動車道

石巻河南ICより車で約10分

■JR仙石線・仙石東北ライン

石巻駅から徒歩12分

■駐車場

石巻市かわまち立体駐車場

より徒歩3分

他、近隣提携駐車場有



学びプラン

津波伝承ARアプリを活用した「防災まちあるき」「南浜・門脇ツアー」 石巻の「過去、あのとき、現在、未来」

「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」

「この場所ならではの」の震災学習プログラムです。

アプリを活用して、「震災前」「震災直後」「未来図」を比較しながら、石巻市の中心部（商業エリア）の被害について学べる「防災まちあるき」プログラムと、沿岸部で甚大な被害を受けた住宅街（南浜・門脇）の「思い出」や「街の記憶」、「震災当日の避難行動」「未来への教訓」を学べる「南浜・門脇ツアー」を開催。また、アプリには、現在地の3.11当時の津波高を示す機能もあり、避難の重要性を様々な角度から学ぶことが可能。

※ARアプリとは…拡張現実（AR）技術を用いたアプリで、スマートフォンやタブレット型端末のカメラをかざすと実世界の対象物に重ねて動画再生されたり、関連情報が取得できます。



タブレット端末を利用して行う「南浜・門脇ツアー」
ポイントをタップすると写真やキャプションが現れる。（左：震災前 右：震災直後）

南浜・門脇ツアーでは、石巻津波伝承ARアプリを使用して。



思い出



街の記憶（左：震災前 右：震災後）



避難行動の可視化
（▶をタップすると動画が再生）

▶ならではのポイント

東北各地の数ある震災学習プログラムの中でも、ARアプリを用いて津波の脅威を疑似体験出来る珍しい取り組みで、「防災」の重要性を学ぶことができる「この場所ならではの」のプログラムです。特に「南浜・門脇ツアー」のエリアには、2021年に「石巻南浜津波復興祈念公園」および、「震災遺構 門脇小学校」が整備され、将来にわたって震災を伝え続ける場所になります。

「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」

ARアプリを活用した「まち歩き」 ・震災伝承

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

コース内容

●「防災まちあるき」所要時間：60～90分

- ・集合場所：石巻市かわまち立体駐車場（石巻市中央2丁目6-11）

※お客様の交通手段によって変更可

- ・「津波伝承AR」アプリを活用しガイドスタッフが一緒に歩きながら複数の地点を案内。

●「南浜・門脇ツアー」所要時間：60～90分

- ・集合場所：伝承交流施設「MEET門脇」（石巻市門脇5丁目200-1）
- ・「津波伝承AR」アプリを活用しガイドスタッフが一緒に歩きながら複数の地点を案内。

被災地にて 伝承交流施設「MEET門脇」

震災前には約4,500人の暮らしがあった南浜・門脇エリアは、津波と火災により甚大な被害を受けました。このエリアに新設した伝承交流施設「MEET門脇」には、住民目線の津波避難の教訓を2面シアターで上映（40人収容可）し、子ども達が防災学習を行うスペースを設けます。震災10年後以降も、多くの方々が訪れる学びの場として、周辺の伝承施設と連携しながら震災学習の要望をつなぎます。

<コンセプト>

MEET 3.11, Act for the Future／3.11でつながろう、未来のために動きだそう

March.11 3.11を原点に

Education つながる人々が変化する

Exhibition 悲しみと願いを示す

Theater 命を守る希望を伝える

公益社団法人「3.11みらいサポート」専務理事 中川 政治さん

少しでも次の世代の命を守るように様々な形でICT（情報通信技術）の活用に取り組んでいます。一方でICTよりも大切な「ひとの生の声＝ガイド」による丁寧な案内により震災の教訓を効果的に伝えてゆきたいです。



アプリのアイコン



まちあるきをしながら
津波浸水深を見ることができる



津波伝承ARアプリ



※日本語の他、英語翻訳があります。
※「津波伝承AR」アプリは、iOS/Android端末にて無料でご利用いただけます。



南浜・門脇ツアーのガイドの様子



「MEET門脇」完成予想図（2021年3月完成）

「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」

▶その他補足情報

- ・所要時間 60分～※各コース内容により異なります。
- ・設定期間 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・対応人員 1名様以上

・その他のプログラム

室内で語り部の経験や教訓を聞く「震災の語り部」、バスにガイドが同乗してご案内する「車中案内」、語り部と一緒に当時避難した道などを歩く「語り部と歩く3.11」、そして、自分だったらどうするかをリアルに考える「防災ワークショップ」等、様々なプログラムを展開している。

▶交通アクセス

- 車／
 - ・防災まちあるき
三陸自動車道 石巻河南ICより15分
JR仙台駅より車で約60分
 - ・南浜・門脇ツアー
三陸自動車道 石巻港ICより15分
JR仙台駅より車で約60分
- 空港／
 - 仙台空港より車で約70分



学びプラン

「3.11の学びを生きる力に」石巻オンライン震災学習プログラム

新型コロナウイルス対策として、2020年6月からオンライン（ZOOM）を利用した伝承プログラムを開始。オンラインでは、お客様の顔が見えず反応が分かりにくいため、「投票」機能を利用し「自分だったらどうするか」をその場で質問して回答してもらうなど「参加」の仕組みを考えている。

お客様からは、「自分だけに話しかけられているような気がして集中できる」、「現場に訪れたくなった」、「自宅で聞いていたので、すぐに家族と防災について話すことができた」など感想が届いている。

オンラインでの 「参加」の工夫

あなたは、どうしますか？

- 1) 電柱に登って避難
- 2) 一目散に山へダッシュ
- 3) 反対車線を走行

10秒で回答を
お願いします！



屋外での臨場感のあるリアルタイム配信

「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」



学校・企業・団体の希望に合わせて内容を調整

「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」



「写真提供：（公社）3.11みらいサポート」

伝承館での対話形式の配信

▶ならではのポイント

新しい生活様式を踏襲した学習プログラムです。

現地までの移動が不要且つオンラインを活用したプログラムのため、移動費用を削減しつつ、気軽に受講いただけます。

被災地研修旅行の事前学習としてもおすすめです。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

【震災語り部講話・オンライン】

60分～90分（講話＋質疑応答）内容は相談の上決定します。

<60分の例>

- 00:00～00:03 お客様から全体への趣旨説明
- 00:03～00:10 スタッフから被災概要＋語り部紹介
- 00:10～00:50 語り部講話
- 00:50～01:00 質疑応答

※必須環境

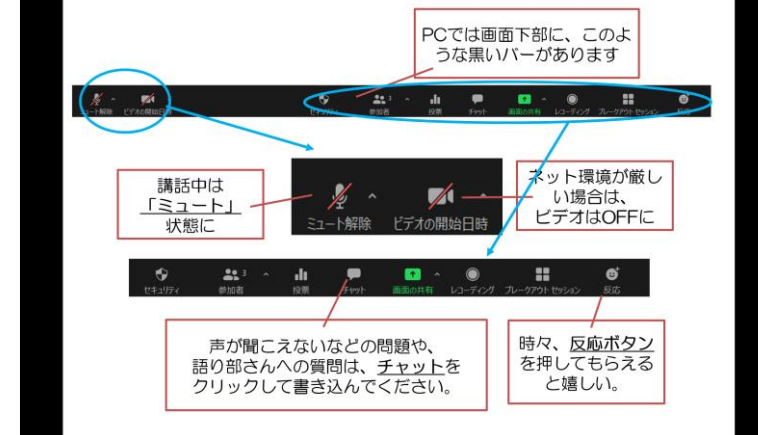
- ・インターネット環境
- ・Eメールアドレス（招待URL送付用）
- ・PCまたはタブレット端末（必須：WEBカメラ・マイク）

※開催前日までに双方向のテスト通話を行います

こんな皆様におすすめです。

- ・中学生、高校生の被災地研修旅行の事前学習として利用したい
- ・企業、会社の研修として防災や減災について学びたい
- ・遠隔地に住んでいるが、地域の防災意識を高めるために震災講話を受講したい
- ・家族で大規模災害や、その備えについて考えたい
- ・都度語り部と意見を交わしながら震災について学びたい

ZOOMの使用方法



3.11みらいサポートがホストとなる場合、オンラインは「ZOOM」を使用します。

▶その他補足情報

- ・所要時間 60分～90分（相談の上決定）
- ・設定期間 2021年4月1日～2022年3月31日
- ・対応人員 1名様から対応可能です。

▶交通アクセス

- オンラインにて実施



震災と原発事故を経験した福島に「触れる」・「感じる」

東日本大震災及び原子力災害を経験した福島県で、復興に向け果敢にチャレンジする人々(ヒューマン)との対話やフィールドワーク等を通し、福島のありのままの姿(光と影)に触れる旅が『ホープツーリズム』です。

このプランは福島の被災地を訪れながら「ヒューマンとの本音の対話」に焦点を当てた学びのプログラムです。福島の現状を「見る」「聞く」だけではなく、「考える(感じる)」ことで“福島だけの問題”を“それぞれが考えるべき自分たちの問題”と捉え、学びを自分事化することによって『自分自身の成長へ』と繋がります。教育旅行、企業等の人材育成など様々なニーズに応じた対応が可能です。



浪江町立請戸小学校 (イメージ)

※「ホープツーリズム」は福島県観光物産交流協会の登録商標です。



東京電力福島第一原子力発電所の模型 (イメージ)



富岡町夜の森地区フィールドワーク (イメージ)

▶ならではのポイント

< 充実・安全・安心 >

被災エリアは日々刻々と状況が変化しております。一度に多くの人数を案内する場合はご相談ください。大型貸切バスでのご来場の場合は、拡声器が使用できない為にイヤホンガイドのご使用をお勧めいたします。

半日や1日コースの事例では、ツアーのアテンド及びファシリテートとして学びの成果を最大限活かすための総合案内人(フィールド・パートナー)の同行により、振り返りやアウトプットのお手伝いをすることができます。

▶半日コース例の流れ・タイムスケジュール・メニュー等

複合災害の記録と教訓を将来へ引き継ぐ“東日本大震災・原子力災害伝承館
※1”を見学後、フィールドワーク・ガイドの案内で実際に被災エリアを巡ります。そして、ヒューマン（HM）との対話から被災地域の取組や課題を学びます。半日コースでも効率的に「見る」「聞く」のインプットから「震災・原発事故の教訓を“自分事として未来にどう活かすか”を持ち帰り考える」ことで、体感だけに終わらない“深い学びの成果”が期待できます。

【半日スタンダードコースの事例】（約4時間20分）

【双葉町】東日本大震災・原子力災害伝承館（※1：休館日を除く）

- ・導入ガイダンス（20分）
- ・見学（60分）
- [バス移動]

見る

見る 【浪江町】フィールドワーク

- 請戸漁港、請戸小、大平山霊園、（60分）
- [バス移動]

聞く 【浪江町／双葉町】公共施設内会議室

- ・ヒューマンとの対話 ※2（60分）

↓

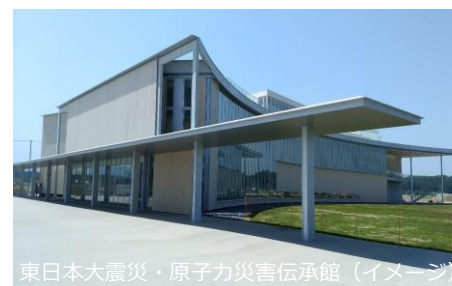
考える（感じる）

- ・振り返り（60分）FP（※3）がファシリテーターとなります [ワークショップ]

※2 ヒューマンの分野リクエストについては事前にご相談ください。

【例】防災・減災、住民、地域づくり、農業、漁業、医療・福祉、保育、教育、事業者等

※3 FP：フィールドパートナーの略。受入れからプログラム終了までのファシリテーターです。



▶その他補足情報

- ・所要時間 リクエストに応じて要相談
- ・対応可能人員 80名程度（ご相談ください）
（当面はCOVID-19新型コロナウイルス対策で40名程度予定）
- ・設定期間 2020年10月1日～通年
- ・設定日 通年（事前にご相談ください。）
- ・設定除外日 不定休のため事前に要相談
- ・料金 リクエストに応じて算出

■事前予約制となります。実施予定日の1か月程度前までにお申し込みください。

▶交通アクセス

東日本大震災・原子力災害伝承館開始の場合（双葉郡双葉町）

- ・常磐自動車道
常磐双葉ICより7.5km
約15分～20分程度
- ・JR双葉駅より車で約5分程度



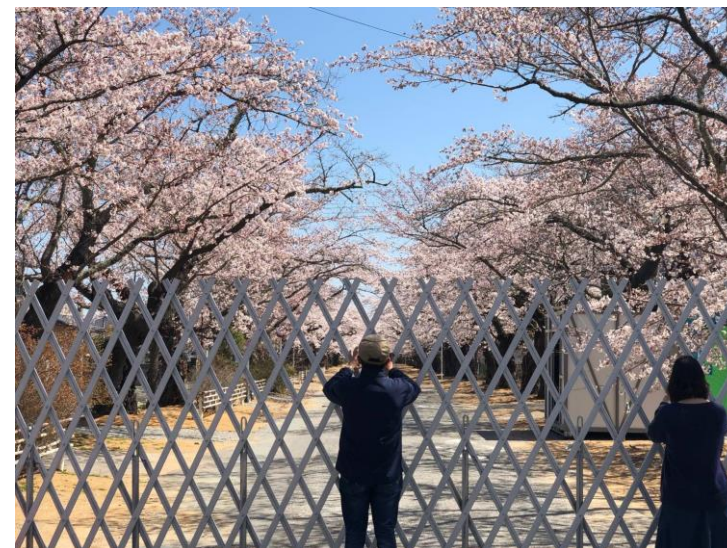
学びプラン

ふくしまの今を伝える ～震災復興から学ぶ防災プログラム～

実際に現地へ行って見て、考えよう。

福島第一原発から16kmの場所に位置する富岡町。原発事故後に避難区域に指定され、町の機能全体が長きに渡って消失しました。

町民の有志らが「富岡町の実態を町民自らの言葉で語り伝える」為に「富岡町3.11を語る会」が2013年4月に発足。2016年7月には法人化をし、これまで20,000人以上の方々を受け入れ、富岡町の現状を伝えてます。



2020年、解除制限が伸びバリケードに位置が変わった



富岡町内を案内



右上写真の震災直後の様子

▶ならではポイント

地震と津波の被害に加え、原発事故発生によりいまだに帰還困難区域が残る富岡町。17年4月1日に避難指示区域が解除され、本格的に復興へ歩み出した富岡町だからこそ学べる震災学習プログラムです。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

コース内容

富岡町集合 ⇒ バスに同乗し町を巡回・案内

※集合場所は当日の行程及びバスの台車数によって変更となります。

詳細につきましては、現地でご確認ください。

被災地にてフレコンバッグ

土壌や草木など除染で生じた放射性廃棄物を詰め込んだバッグ。福島県内の広い範囲で山積みされている。現在は福島第一原発近くの中間貯蔵施設に移され最終的には県外に建設予定の最終処分施設へ搬出される。

富岡町 ご案内人 富岡町3.11を語る会 青木 淑子さん

福島県は地震・津波に加え、原発事故というあってはならないことが起きてしまいました。今日でも故郷を追われ全国各地で避難生活を余儀なくされている方々が大勢います。

「原発難民」である富岡町民が「語り人」となり、富岡のこれまで・今、そしてこれからの復興について伝えます。



更地が増えた富岡町



富岡町 ご案内人
富岡町3.11を語る会
青木 淑子さん



車内でのガイドの様子



スライドを用いて
被災当時を語る

▶その他補足情報

- ・所要時間 約1時間30分
- ・設定期間 2021年4月1日～2022年3月31日
(除外日：4/27～5/6、8/10～8/20、12/29～1/3)
- ・対応人員 1名様以上～45名様まで

▶交通アクセス

- 車/
常磐自動車道常磐富岡ICより
約10分

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社JTB
法人事業本部

東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル13階

E-mail	isr_mktg@jtb.com 営業時間：10:00-17:00 定休日：土日祝及び年末年始
お問合せ	https://www.jtbbwt.com/business/contact/
ホームページ	https://www.jtbbwt.com/